

Sara 3000



警告

怪我を避けるため、製品を使用する前に必ず本取扱説明書及び付属の文書をよくお読みください。



本取扱説明書を必ずお読み下さい

意匠方針と著作権

® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。

© Arjo 2019 年。

当社の方針の一つは継続的改善を掲げているため、当社では事前の通知なしに設計・デザインを変更する権利を留保しています。本書の内容の全部あるいは一部を Arjo の同意なしに複写することはできません

目次

安全に関する注意事項	3
使用目的	3
一般的な安全に関する注意事項	4
本書で使用する定義	4
はじめに	5
部品名称 / 表記	6
製品説明と取り扱い説明	7
設置説明	7
特長と機能	7
ハンドコントロール	7
デュアルコントロールスイッチ	7
緊急停止ボタン	7
電源オン / リセットボタン	7
電源オフボタン	7
自動カットアウト - 上昇時に使用	7
自動停止機能 - 下降時に使用	8
過熱防止	8
システム故障時の下降機能	8
バッテリー放電インジケータ	8
時間 / サイクルメータ	8
シャーシキャスターブレーキ	8
フットサポート	8
下脚部ストラップ	8
幅調節可能なシャーシ脚部	9
はかり（オプション）	9
使用前のチェックリスト	9
移乗前の準備	9
立位用スリングの使用と移乗用スリングの使用	9
バッテリー充電中	13
消毒、クリーニングおよび保守	15
機器の一般的なクリーニングとお手入れ	15
日常点検	15
点検整備に関するアドバイス	15
部品リストと回路図	16
定期的なテスト	16
環境に関するアドバイス	16
スリング	16

点検・保守及びメンテナン	17
メンテナンス計画	17
ラベル	18
技術仕様	20
コンポーネント重量	20
電気仕様	20
環境	21
最大音量出力レベル	21
Sara 3000 寸法	22
トラブルシューティング	23
電磁環境適合性 (EMC)	24

安全に関する注意事項

使用目的

Sara 3000 は、移動性に優れた起立・立位補助器です。安全耐荷重は 200 kg (440 lbs) です。病院、介護施設、在宅ケア環境（個人の住居）、その他のヘルスケア施設において、患者や入居者の体を立位姿勢に持ち上げたり、患者や入居者が屋内で短い距離を移動したりするときに使用できます（例えば、ベッドからの体の持ち上げ、車椅子への移乗、車椅子からトイレへの移動など）。

Sara 3000 は、トレーニングを受け、継続的に患者/入居者に付き添っている介助者が、取扱説明書に記載されている指示に従って取り扱うようにしてください。

本製品は、クリップスリングで使用することを想定しています。ただし、入居者サポートアーム上にある中央ラグに取り付けるレッグフラップ用ループを装備した移乗用スリングの場合は例外です。Sara 3000 向けに設計されているスリングをご使用ください。

Sara 3000 は本取扱説明書で指定された用途にのみ使用してください。それ以外の使用は禁止します。

患者 / 利用者のアセスメント

それぞれの施設において、定期的に作業評価を行って頂くことをお勧めします。介助者は次の評価基準に従って、使用する前に各入居者 / 患者を評価してください。

- 患者 / 入居者が車椅子に座っている。
- 少なくとも 1 本の脚で体重を部分的に支えられる。
- 体幹にある程度の安定性がある。
- 多くの場合、介助者を必要とする状態である。
- 身体的に介助者を必要としている。
- 残存能力を刺激することが重要。

患者 / 利用者様が上記に当てはまらない場合は、別の製品 / システムを使用してください。

Sara 3000 を使用する前に、入居者 / 患者の健康状態および適性に関し、上記の内容に従って介助者が包括的な臨床評価を実施する必要があります。

Sara 3000 は、トレーニングを受けた介助者が取扱説明書または患者 / 入居者の臨床医に従い患者 / 入居者を注意深く評価した後においてのみ、使用することができます。脊髄損傷、対麻痺、骨成形不全症、てんかん性発作などの健康状態では、Sara 3000 の使用ができない場合があります。

設置要件

設置プロセスは、Sara 3000 の使用前に取扱説明書を完全かつ明確に理解し、操作者となることが予定されている人が実施することができます。

耐用年数

Sara 3000 想定製品寿命は、耐用年数の最大期間です。

Sara 3000 の想定耐用年数は、取扱説明書に記載されているお手入れとメンテナンスの手順に基づいてメンテナンスが実施されていることを前提に、およそ 10 年です。

アクチュエータは、50000 回のリフティング毎に交換するようにしてください。

スリングの想定寿命は、実際の使用状況に依存します。

本製品が損傷したときは、使用できません。

Sara 3000 は、再利用が可能な機器です。「消毒、洗浄、メンテナンス」の章に記載されている要件を考慮してください。

他にもバッテリーやスリングといった消耗品がありますが、その想定寿命は使用状況によって異なります。



注意： Sara 3000 およびそのアクセサリは、高い水準で製造されていますが、長期間にわたって高湿度または濡れた場所に放置しないようにしてください。

いかなる状況（シャワー時など）においても、Sara 3000 やアクセサリ（スリングまたは Arjo が濡れた環境で使用できると承認した設備機器は除く）に決して水がかからないよう十分に注意してください。

安全に関する注意事項

一般的な安全に関する注意事項

本書で「入居者」あるいは「患者」という言葉は、機器で持ち上げられている人間を意味します。

本取扱説明書は、入居者と介助者の安全を含めて、Sara 3000 の安全かつ効果的な取り扱いを実現する上で必要不可欠なものです。



警告：使用前に取扱説明書をお読みください。

Sara 3000 を使用する前に、「操作および製品ケア説明書」を良く読んで完全にご理解いただくようお願いいたします。Sara 3000 とアクセサリ、ならびにその機能と操作に慣れ親しむようにしてください。

Sara 3000 のセットアップ、使用あるいはメンテナンスに助けが必要な場合、あるいは使用中に予想外の動作を経験した場合、最寄りの Ajro 代理店にご連絡ください。本取扱説明書の裏表紙の内側にリストが掲載されています。



警告：不適切な部品を使用してケガをしないように、Sara 3000 には、Ajro が供給した専用部品のみを使用するようにしてください。

Sara 3000 に対して行なわれる未承認の改造や修理は製品の安全性に影響を及ぼす可能性があり、保証は無効になります。Ajro は、不正な改造や修理の結果として生じる事故、事変またはパフォーマンスの欠如に対して一切の責任を負わないものとします。



警告：この製品には、子供が飲み込んだり、吸引したりすると、窒息の危険性がある小さな部品が含まれています。

子供やペットを製品に近づけないでください。

ハンドコントロールのコードは患者様が絡まる危険があるため、最新の注意を払って取り扱ってください。

本書で使用する定義



警告

この警告に従わなければ、傷害事故を招く恐れがあることを意味します。



注意

これらの指示に従わなければ、システムや設備機器の全部、またはその一部が破損する恐れがあることを意味します。

はじめに

Sara 3000 をご購入いただき誠にありがとうございます。

「操作および製品ケア説明書」や交換部品に関する詳細については、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせの上、長期にわたって *Sara 3000* の安全性、信頼性、価値を最大限に引き出せるように、総合的なサポートとサービスプログラムを受けてください。

「操作および製品ケア説明書」でご不明な点がある場合、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

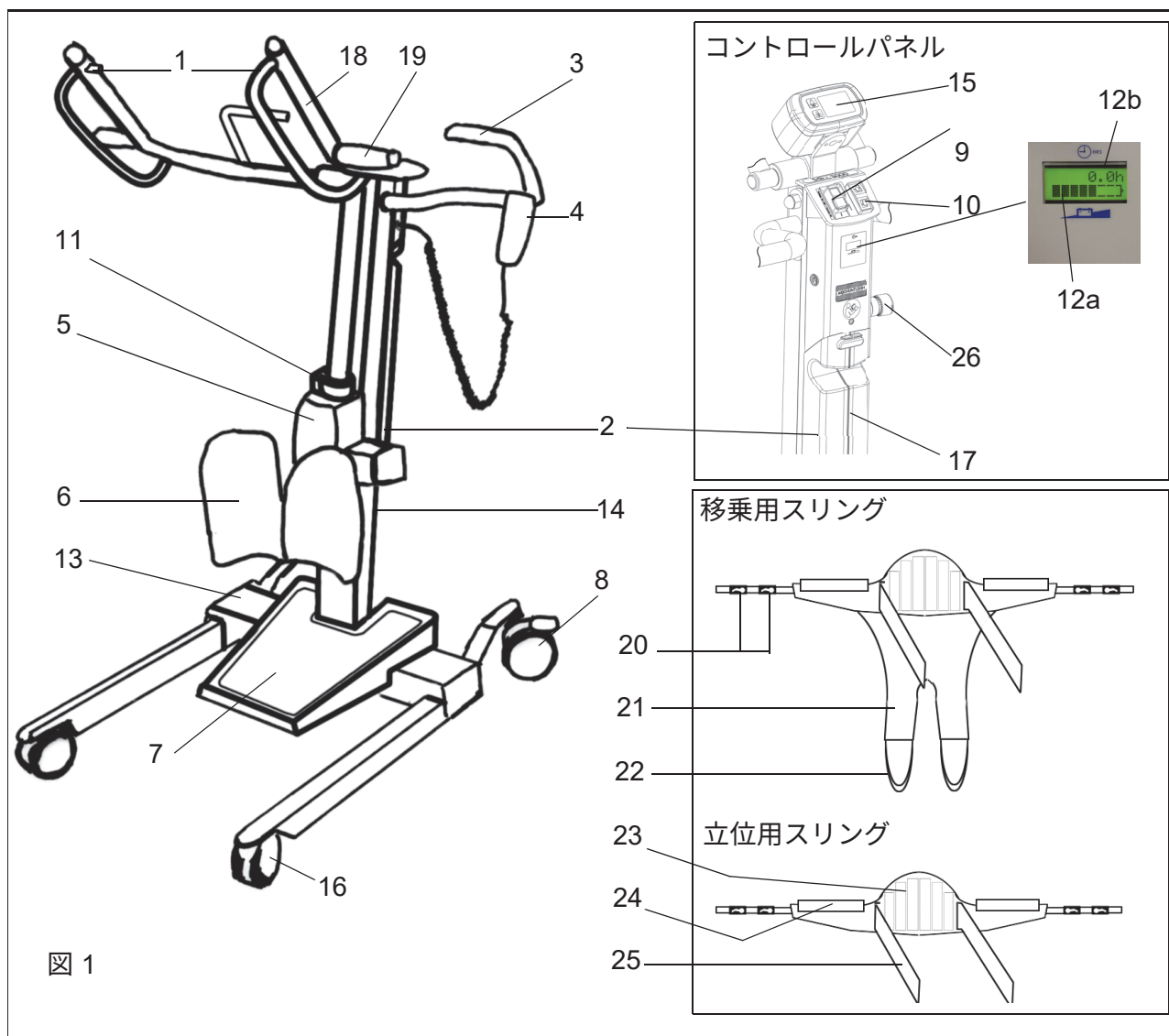
ご連絡先は本書の裏表紙に掲載されています。

「操作および製品ケア説明書」にさまざまな情報（例えば、動画や簡単な使用ガイドライン）が付随している場合、この情報が本書の情報に置き換わることはありません（本書には重要な安全に関する注意事項が記載されているため）。簡単なガイドラインが *Sara 3000*、その部品および Arjo スリングの完全な取扱説明に置き換わることはありません。*Sara 3000* を操作する前に、*Sara 3000* および Arjo スリングの説明書とガイドラインすべてを良く読んで、理解し、それに従うようにしてください。

医療機器もしくは福祉機器に関連して、お客様または患者様に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザまたは患者様は、その事象を医療機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

部品名称 / 表記

本書で参照する部品



- | | |
|---|---------------------------|
| 1. クリップ取り付け点 | 14. シャーシ垂直マスト |
| 2. バッテリーパック | 15. 体重計ディスプレイ (装着時) |
| 3. ステアリングハンドグリップ | 16. フロントキャスター |
| 4. ハンドコントロール | 17. バッテリー解除ボタン |
| 5. モーター / アクチュエータ | 18. 入居者サポートアーム |
| 6. 膝サポート | 19. 入居者サポートグリップ |
| 7. フットサポート | 20. クリップ |
| 8. ブレーキ付きリアキャスター | 21. レッグフラップ |
| 9. 電源オフボタン (赤) と電源オン / リセットボタン (緑) | 22. ループ |
| 10. デュアルアップ / ダウンコントロール | 23. すべり止め背もたれ |
| 11. システム故障時の下降オーバーライド | 24. パディング |
| 12. バッテリー放電インジケータ (a) と時間 / サイクルメータ (b) | 25. 胸部固定ストラップ |
| 13. シャーシのベース | 26. 緊急停止ボタン (赤) (サイドパネル上) |

製品説明と取り扱い説明

設置説明

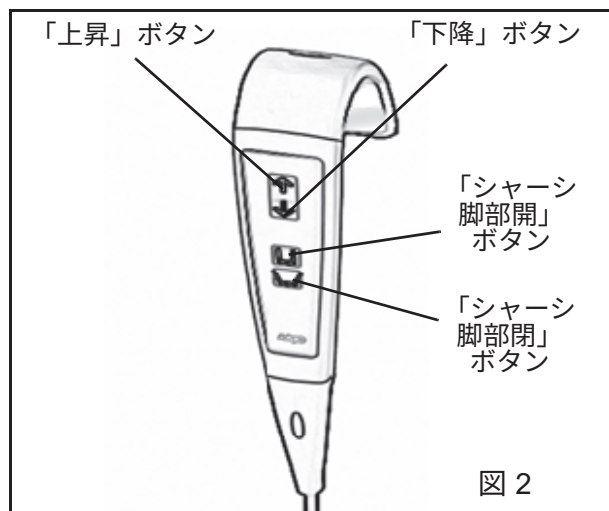
Sara 3000 は完全に組み立てられた状態で納品されます。

同梱のバッテリーパックを開梱して、充電器が完全充電を示すまでバッテリーを充電してください。「バッテリー充電」のセクションをご参照ください。

バッテリーパックを完全に充電したら、電源を切り、バッテリーパックを充電器から取り出して、マストの後部にある Sara 3000 バッテリー収納部に完全に取り付けてください。

特長と機能

ハンドコントロール : Sara 3000 には、拡張ケーブルでセミリモートコントロールユニットを取り付けることができます。ハンドコントロールは、上昇 / 下降およびシャーシ脚部の開 / 閉機能に使用します。ボタンの隣にある矢印は、各機能を示します（図 2 を参照）。使用中にボタンから手を離すと、電動の動作は直ちに停止します。



デュアルコントロールスイッチ : ハンドコントロールのオプションとして、電子部品 / バッテリー収納部の前にある、このスイッチから入居者サポートアームの上昇と下降を制御することができます。スイッチの隣にあるラベルは、機能識別用です（図 1 を参照）。このスイッチは、ハンドコントロールケーブルが外されていても機能します。

緊急停止ボタン（赤）（図 1 を参照）：電動機構を直ちに停止する必要がある場合（ハンドコントロールのボタンを離す場合を除く）、バッテリー上のサイドパネルにある赤い緊急停止ボタンを押してください。

緊急停止ボタンを押した後は、ボタンが元の状態に戻るまで赤いキャップを回転してリセットする必要があります。これで Sara 3000 は再び作動させることができます。

電源オン / リセットボタン（緑）（図 1 を参照）：上部のコントロールパネルにある電源オンボタンを押して、Sara 3000 の電源を投入できます。また、自動過負荷ヒューズが作動した場合にも、このボタンを使用してリセットできます（ボタンはわずかに外側に突き出した格好になります）。ヒューズが作動して一度リセットされたにもかかわらず、再度作動する場合は、リフターの使用をやめて Arjo サービス部門か指定の販売代理店までご連絡ください。

電源オフボタン（赤）（図 1 を参照）：上部のコントロールパネルにある電源オフボタンを押して、Sara 3000 の電源をオフにできます。



警告：介助者は、上昇および下降機能を使用して瞬間から、入居者サポートアームは使用している機能の動きに従うことに留意するようにしてください。

入居者サポートアームが押されているコントロールボタンの使用によって指定される動きに追従しない場合、ボタンを直ちに放して、障害物がないかチェックしてください。障害物を除去する前に、常に入居者を支えて、安全な姿勢を確保してください。

以下の安全機能が装備されています：

自動カットアウト - 上昇時に使用：

（図 1 を参照）（介助者 / 操作者による制御ではなく、電子機器に機能が埋め込まれている）

製品説明と取り扱い説明

機器が不注意で過負荷（許可限度を上回る体重の入居者を持ち上げる）になった場合、自動「カットアウト」機能により Sara 3000 は安全耐荷重を超える重量は持ち上げられなくなり、上昇動作は自動的に停止します。「過負荷」はディスプレイに表示されて、ピープ音が連続的に鳴ります。この自動カットオフが発生した場合、ハンドセットのボタンを放すと電子機器はリセットされます。この後、ハンドセットの「下降」機能ボタンを押すことで、入居者を下降させることができます。入居者を機器から外します。

自動停止機能 - 下降時に使用：（図 1 を参照）特に入居者が起立しているときや体重負荷がかかっているとき、入居者サポートアームを入居者や障害物に降ろすことのないよう細心の注意を払うようにしてください。このような状態では、モーターは回転を続けますが、下降動作は障害物によって妨害されます。従って、このような事態に陥った場合、下降ボタンから直ちに手を離し、障害物との隙間があくまで「上昇」ボタンを押してください。次に障害物を取り除きます。

過熱防止：オペレータがリフトアクチュエータのデューティサイクル（2 分 / 18 分）を超える操作を行うと、ブザーが 15 秒ごとに 2 回鳴って「OverHeat」（過熱）が時間 / サイクルメータ（図 1 を参照）に表示されます。信号が発生していれば、動作は可能です。この機能によりアクチュエータが破損するのを防止できます。

システム故障時の下降機能：メインコントロールが故障した場合に使用します。ハンドコントロールまたはデュアルコントロール機能で Sara 3000 を操作できなくなることは、まずありません。しかし、万が一、入居者がスリングに支えられている状態でこのような事態が発生した場合は、アクチュエータ上にある「システム故障時の下降オーバーライド機構」を使って下降できます（図 1 & 3）。コントロールカラー上にあるラベルは、素早くかつ容易に識別するためのものです（図 3 を参照）。この機能を作動させるには、入居者自身の体重によってマストがゆっくりと下降できるようになるまで、スライドコントロールを上へ引いてください。下降を停止させるには、スライドコントロールを離します。この機能はコントロール障害が発生した場合にのみ使用し、通常の下降用機能として使用しないでください。



警告：「システム故障時の下降オーバーライド」機構を作動させて入居者を下降させる前に、入居者を支えるための椅子や適切なサポート用具が準備されていることを確認してください。

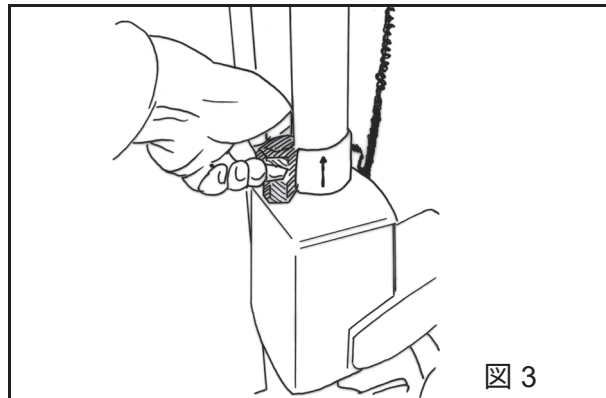


図 3

バッテリー放電インジケータ：（図 1 を参照）液晶画面の下部に小さなバッテリー記号があります。バッテリー記号は充電レベルを示します。

時間 / サイクルメータ：（図 1 を参照）ディスプレイの上の行は、上昇および下降操作の合計時間を示します。上昇および下降ボタンを押すことで、ディスプレイには同じ時間でのサイクル数も表示されます。この機能はサービス間隔を計算する上で役立ちます。

シャーシキャスターブレーキ：シャーシの後部キャスターにはブレーキが付いており、必要に応じてつま先で操作できます（図 4 を参照）。Sara 3000 を固定しておく際に利用できます。

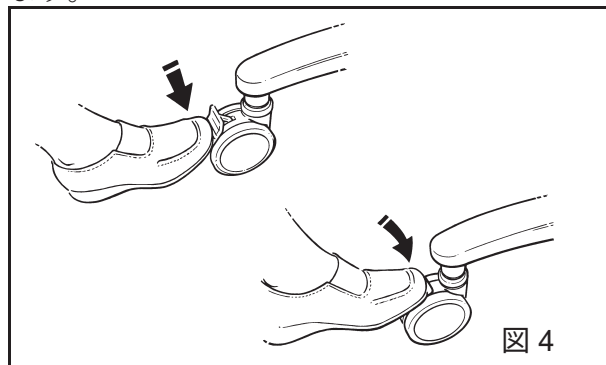


図 4

フットサポート：上昇や移動の最中に入居者が乗って足をサポートするためのものです。

下脚部ストラップ：入居者の下脚部を膝サポートに密着させるために使用するアクセサリです。膝サポートの周りを通して、入居者の下腿部の周りをサポートします。締め付けには、車のシートベルトのようにストラップをソケットにカチッとはめ込んでください。ストラップがしっかりと固定されていて、入居者にとっても快適であることを確認してください。

製品説明と取り扱い説明

幅調節可能なシャーシ脚部：希望の幅になるようシャーシ脚を開くには、ハンドコントロール上の適切なボタンを押します。ボタンから指を放すと、動きが止まってシャーシレッグがその状態を保ちます。

入居者の移動はシャーシ脚を閉じた状態で行ってください。出入り口ではこの方が通りやすくなります。



警告：シャーシ脚を閉じているとき、入居者および/または介助者は、脚やその他の体の部分をフットサポートとシャーシ脚の間の領域に絶対に置かないでください。

はかり（オプション）：オプションのはかりを使用するには、**はかりの取扱説明書**を参照してください。

使用前のチェックリスト

使用前にチェックすべき項目のリストについては、本書の「点検・保守やメンテナンス」のセクションをお読みください。

移乗前の準備

機器を使用する前に、介助者は、次に何をするかを常に入居者に説明するとともに、適正なサイズのスリング（吊り具）を予め準備しておく必要があります。

必要に応じて、椅子や車椅子の邪魔にならないよう、あるいはベッド脚や障害物を回避するためにシャーシ脚を広げることができます。

Sara 3000 の近くで入居者をスリングに乗せることも可能ですが、Sara 3000 を離すことでそれが容易になることもあります。

入居者の移乗とさまざまなスリングの使用については、スリングメーカーが供給する取扱説明書をご参照ください。



警告：入居者の目の高さまで接近することのないよう入居者サポートアームの高さを調整します。入居者の腕と、チェアアーム、固定ハンドレール、シャワーグリップといった障害物の間には、十分なスペースを取ってください。

立位用スリングの使用と移乗用スリングの使用

スリングの詳細情報については、スリングに同梱の取扱説明書ならびにスリングラベルをお読みください。

図 1 に、移乗用スリングと立位用スリング、ならびにその他の部品を示します。



警告：医学的に資格ある職員は、立位用スリングを使用する際に入居者に下脚部ストラップを必要とするかどうかに関して、Sara 3000 を用いて上昇操作が行われている個々の入居者に対してアセスメントを実施する必要があります粗暴な入居者や攣縮症状を持つ入居者については、必要に応じて、Sara 3000 による上昇操作が適切であるか評価してください。

移乗用スリングを使用する際は、脚固定ストラップを使用しないでください。

スリングのトップは、スリングの上端に貼付されている洗浄ラベルによって識別できます。

スリングを入居者の腰にあてがうことができるよう入居者を前方に傾けさせてください（図 6 を参照）。入居者の腕をスリングの外にして、スリングの底が入居者のウェストラインから約 5cm 上で水平に位置するよう、スリングを入居者の背中の周りに配置します。サポートストラップが分離して、体の周りに付いていて、よじれていたり入居者の背中の陰に挟まっていたりしていないことを確認してください。

製品説明と取り扱い説明

移乗用スリングを装着する際は、スリングの各々の脚セクションを取って、入居者の脚の下を通してください（図5を参照）。

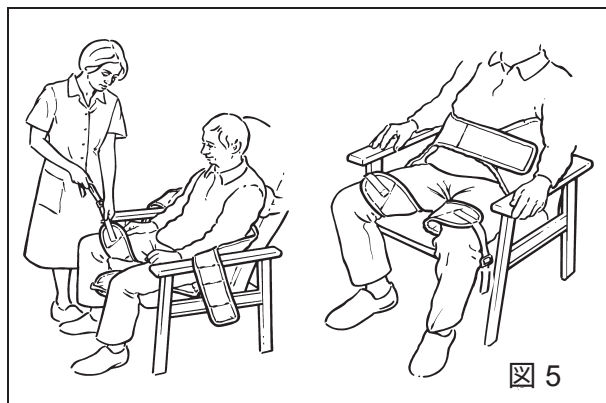


図 5

サポートストラップをしっかりと締め付けるには、バックル（装備時）あるいはフックとループストラップ（装備時）を押し付けます。ストラップは入居者にとって不快にならない程度にしっかりと締めるようにしてください。図9をご参照ください。入居者が椅子から上昇し始めたら、ストラップを忘れずに締めてください。

Sara 3000 が所定の位置に着く前、あるいは着いた後にスリングを使用できます。

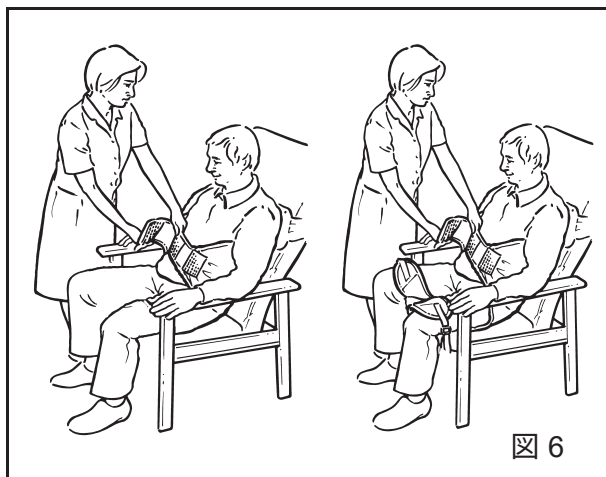


図 6



警告：スリングを使用する際は、スリング胸部サポートストラップを常に使用して締め付ける必要があります。

スリングサポートストラップは、上昇手順の実行中に患者を固定するのに役立ちます。ストラップはまた、入居者の周りの正しい位置にスリングを保持するのにも役立ちます。

Sara 3000 が入居者の近くにいる場合、入居者の所まで移動してください。

クリップを取付ポイントに装着して、図7に示す通りクリップを引いてしっかりと固定します。

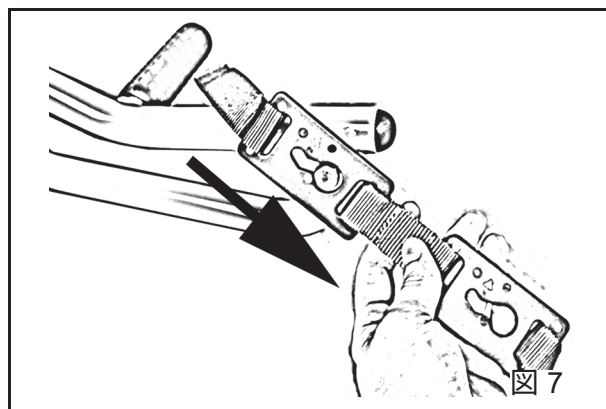


図 7

移乗用スリングを使用する際は、スリングの左右の脚側にあるアタッチメントループを確認して、それを入居者サポートアームの間にある中央ラグに取り付けます。（図8を参照）

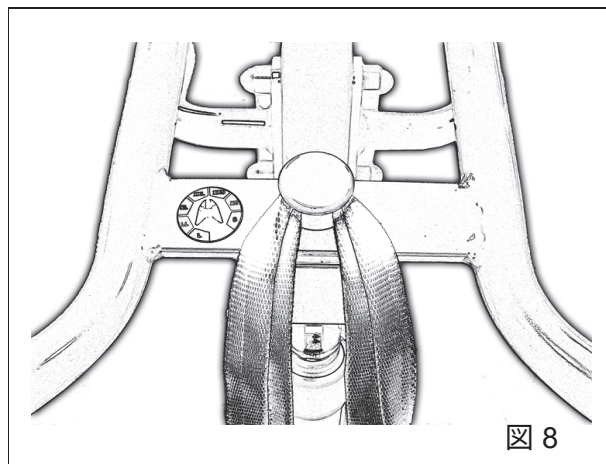


図 8

製品説明と取り扱い説明

入居者の準備が整ったら、入居者が両足をフットサポートに乗せられるよう助けてください。この動作は容易にするために、Sara 3000 を入居者に向かって押してください。

必要に応じて、適切なコントロールボタンを操作して、椅子や車椅子の邪魔にならないようシャーシ脚を広げることができます。

下腿部全体が膝サポートに接触するよう Sara 3000 を慎重に押してください。（図9を参照）

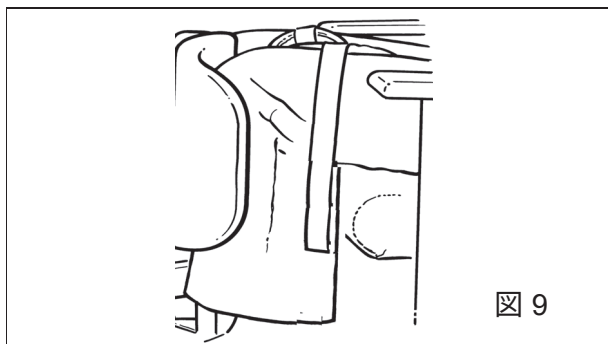


図 9



警告：吊り上げ作業の前やその最中に、スリングアタッチメントクリップがすべて定位置にしっかりと取り付けられていて、入居者の体重が徐々に加わるにつれてテンションが加わることを常にチェックしてください。

各クリップが入居者サポートアーム上の正しいクリップ取付ポイントに取り付けられていて、移乗用スリングを使用している場合、各ループがラグに正しくかつしっかりと取り付けられていることを確認してください。

次に、入居者は片手または両手で入居者サポートグリップを掴む必要があります。これで入居者は上昇操作を受ける準備が整いました（図10を参照）。

ハンドコントロールまたはデュアルコントロールパネル上のボタンを操作して、椅子から離れる程度まで入居者を上昇させてから、ボタンを離して機器を停止させます。（図2参照）

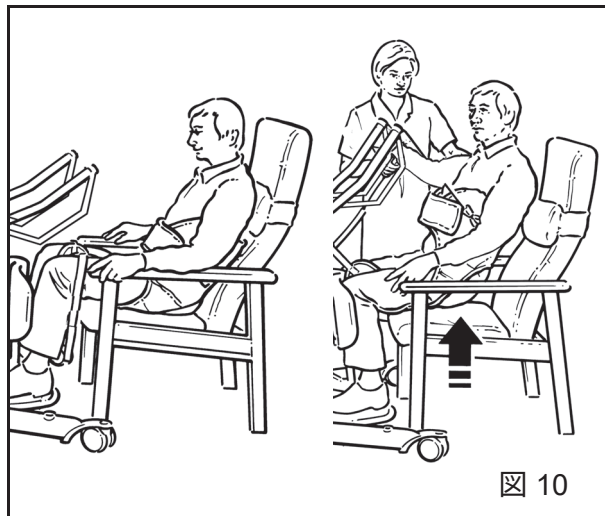


図 10

立位用スリングで入居者を持ち上げているとき、入居者の姿勢は座位から立位姿勢に変わります。移乗用スリングで入居者を持ち上げているとき、入居者の姿勢は座位から座位 / 横臥位姿勢に変わります。

入居者の体は、脇の下の腰と胸部にあるスリングによって支えられます。移乗用スリングで持ち上げているとき、入居者の下半身も支えられます。

立位用スリングで持ち上げているとき、入居者が立つために何らかの動作が行える場合、この動作は入居者の自信と筋肉トレーニングの意味で有効になります。椅子から起き上がるため、あるいは自分自身を安定させるため、可能な限り何らかの動作が行えるよう入居者を励ましてください。入居者が常に上半身をスリングにもたれて座っていることを確認してください。

移乗用スリングで持ち上げているとき、入居者は何もできません。

移乗用スリングを使用しているとき、入居者が不安になるため入居者を座位姿勢よりも高く持ち上げないでください。

ハンドコントロールの上昇ボタンを使用して、特定機能を実施する上で最適かつ快適な高さまで入居者を持ち上げます（図11を参照）。

操作している間、ハンドコントロールボタンあるいはデュアルコントロールボタンから手を離すと、電動の動作は直ちに停止します。

製品説明と取り扱い説明

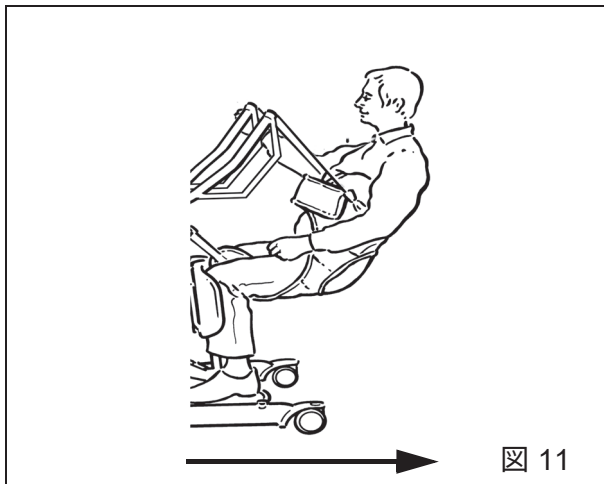


図 11

立位用スリングを使用することで、完全な立位姿勢まで入居者を持ち上げることができます（図 12 を参照）。

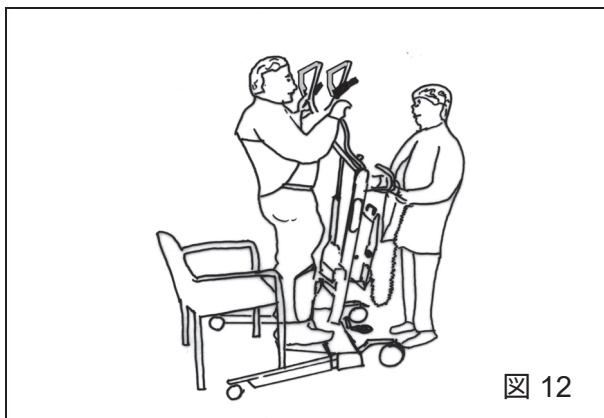


図 12



警告：入居者の足は常にフットサポートへ完全に接触させるようにしてください。

入居者を持ち上げているとき、入居者の足がフットサポートから浮かないようチェックしてください。このような状態に陥った場合、入居者の足がフットサポートへ完全に届くまで入居者を直ちに下降させてください。

入居者は完全に持ち上げられたとき、自分の膝を固定してしっかりと立つことができます。このとき、膝は膝サポートから離れて、入居者はスリングにもたれかかることができます。

脳梗塞などを患っていて、片手しか入居者サポートグリップを握れない入居者でも *Sara 3000* で持ち上げることはできますが、入居者を上昇させている間、介助者（または第2介助者）によって動かない腕は体の前に固定させて、正常に機能する手は入居者サポートアームを握らせるようにしてください。

これで入居者をトイレ、車椅子、ベッドといった希望する場所に移乗させることができます。入居者に長い距離を移動させないでください。

入居者の移動はシャーシ脚を閉じた状態で行ってください。出入り口ではこの方が通りやすくなります。



警告：*Sara 3000* は常に図 11 に示す方向へ移動させてください。

入居者を持ち上げたとき、再び下降させる前に、必要に応じて衣服、失禁パッド等を整えてください。

入居者を慎重に降ろすにはハンドコントロールを使用してください。

Sara 3000 を所定の位置に留めるには、足で操作できるリアキャストブレーキを使用してください。



警告：入居者を降ろして座位姿勢に戻す際は、シート、椅子、トイレ、その他によって完全に支えられるような位置に入居者が座れるように慎重に操作してください。入居者サポートアームを入居者や障害物に降ろすことのないよう細心の注意を払うようにしてください。

入居者が座っているとき、胸部サポートストラップを開いてスリングを取り外し、次にスリングのクリップを上へ引いて、入居者サポートアームから外します。



警告：入居者がスリングによって支えられている間、アタッチメントクリップ、ループまたは胸部固定ストラップ（図 1 を参照）を解放しないでください。

バッテリー充電中

Sara 3000 にはバッテリー放電インジケータが付いています（図 1 参照）。

バッテリー放電インジケータのレベルがセグメント 3 個になって、ブザーが 10 秒に 1 回鳴ったら、バッテリーを外して充電するよう推奨します。ただし、レベルがセグメント 1 個になって、ブザーが鳴り続けるまで上昇操作は可能です。この時点でバッテリーはできる限り早く充電する必要があります。

バッテリー充電が低い状態になるか完全に消耗する前にバッテリーパックを再充電しておくと、バッテリーの寿命を延ばすことができます。

Sara 3000 を常に使用できる状態にしておくために、充電したばかりのバッテリーパックを常に準備しておくことを推奨します。バッテリーパックを余分に購入しておけば、1 組を使用している間にもう 1 組を充電できます。

初めて充電するバッテリー、または長期間保存後のバッテリーは、充電器がフル充電を示すまで充電する必要があります。

各ワークシフトの開始時には常に新しく充電されたバッテリーを用意しておくようにするとよいでしょう。

バッテリーの想定寿命は充電のやり方、間隔等によって変化し、通常は 2～5 年です。

バッテリーの想定寿命を延ばすには、充電器がフル充電を示すまでバッテリーを一定間隔で充電する必要があります。



警告：バッテリーを圧壊、破裂、分解、解体したり、あるいは別の方法で機械的干渉を加えないでください。

バッテリーのケーシングに亀裂が入り、電解液が皮膚や衣服に接触した場合は、直ちに水洗いしてください。電解液が目に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医者の治療を受けてください。

バッテリー周辺で喫煙したり火気を近づけたりしないでください。

密閉した容器内でバッテリーを充電しないこと。

バッテリーを火気にさらすこと、または火中に投じてはいけません。

バッテリーを短絡しないでください。

バッテリーを温度が 60°C (140°F) を超える場所に保管しないでください。

バッテリーを廃棄する場合は、当該地方自治体のアドバイスを受けてください。

バッテリーパックのリサイクルシンボルおよびごみ箱シンボルの近くに記された略記「Pb」は元素記号「鉛」を指し、バッテリーに鉛が含まれていることを示します。この場合、通常のごみと同様の方法で破棄することはできず、リサイクルする必要があります。

バッテリーパックを充電する方法は以下の通りです：

バッテリー放電インジケータのレベルがセグメント 3 個になっている場合は、リフト動作を完了してから Sara 3000 を適切な場所に移動し、上部のグリップハンドルを掴んでバッテリーパックを外します（図 19 を参照）。

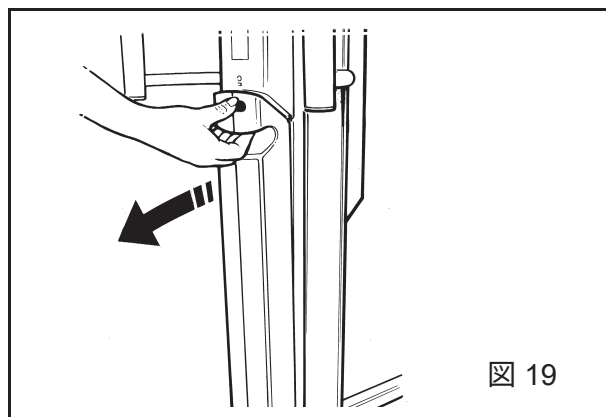


図 19

バッテリーをバッテリー充電器まで運びます。



警告：バッテリーパックを Sara 3000 またはバッテリー充電器から外したり、そこに取り付けたりする際は、パックを落として損傷を与えたり、怪我をする人が出ないようにしっかりと握ってください。

バッテリーの充電方法

バッテリー充電器の取扱説明書 001-24257 を参照してください。

放電したバッテリーは、充電器がフル充電を示すまで充電するようにしてください。

バッテリー充電中

バッテリーパックが完全に充電されたら、*Sara 3000* に取り付けてください。

電気接続は自動的に実施されます。

緑の電源オン / リセットボタンを押してください。

これで *Sara 3000* を使用する準備が完了しました。



注意： 使用後は、赤い電源オフボタンを押して、*Sara 3000* をオフにします（図 1 を参照）。これにより電力消費を減らすことができます。

消毒、クリーニングおよび保守

機器の一般的なクリーニングとお手入れ

下記を実施する頻度は、本機の使用頻度によって異なります。

特に明記されていない限り、ご使用にあたって本節に記載されているクリーニング、手入れ、手順に従ってください。



注意： Arjo から提供された機器、アクセサリおよびスリングは、各入居者の使用前後に必要に応じて、または最低一日に一回、クリーニングおよび/または消毒するよう推奨します。スリングや設備機器にクリーニングが必要な場合、または汚染の疑いがある場合、当該機器を再使用する前に、下記の推奨されるクリーニングおよび/または消毒を行ってください。これは、同一機器が別の入居者に使用されるときに交差感染の危険性を最小化するために特に重要です。

機器やアクセサリをクリーニングする際は、「ARJO CLEAN」などの消毒薬か洗剤を加えた温水を布に含ませて隅々まで拭きます。埃や汚れがたまる部分は特に注意して掃除してください。

汚染された機器およびアクセサリの消毒には、本製品の完全布拭き清浄の望ましい方法である 70% v/v のイソプロピルアルコール溶液を染み込ませた「硬質表面消毒ワイプ」を使用します。

ワイプで表面を効果的に消毒するには、コスリ作業が必要です。

70% v/v イソプロピル・アルコールによる拭き掃除は、軽く汚れた状態のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌などいくつかの微生物に対して効果を発揮することが証明されています。



警告： リフターは、別の患者が使用する前に、クリーニングする必要があります。



警告： 製品を濡らさないでください。腐食する恐れがあります。



注意： 熱風乾燥器を使用して機器を乾燥する場合には、その温度が 80°C (176°F) を超えてはいけません。石油ベースの溶剤またはその類似品は、プラスチック部品を破損する恐れがありますので、使用しないでください。



警告： クリーニング製品および消毒製品は、製造業者の指示に従って使用してください。消毒薬を取り扱う場合は常に、目や手、衣服の保護用具を着用しなくてはなりません。

日常点検

日常点検を必要とするものについては、本書の「点検・保守やメンテナンス」のセクションをお読みください。



警告： キャスターがシャーシにしっかりと固定され、滑らかに回転・旋回することを確認します。

水で洗うこと。（床をクリーニングした際の洗剤、髪の毛、ホコリ、化学薬品などが原因で、機能に影響が及ぶ恐れがあります）

すべてのプラスチック部品、特に入居者の体が触れる部分を注意深く検査し、患者の皮膚を傷つけたり非衛生的になり得る亀裂または鋭角部分ができているか確認します。

すべての外部取付金具が固定され、ネジやナットがすべて締まっているか確認します。

点検整備に関するアドバイス



警告： Arjo は、Sara 3000 を定期的にメンテナンスするよう推奨します。本書のメンテナンス計画のセクションをご参照ください。

消毒、クリーニングおよび保守

部品リストと回路図

これらはご要望に応じて Arjo または指定代理店から入手できます。

補修部品は、必要に応じて、Arjo またはその正規販売代理店から提供可能です。

特定のコンポーネントを交換する際には特殊なツールが必要です。

定期的なテスト

以下の作業は毎週行ってください：

通常操作の場合 - ハンドコントロールとデュアルコントロールスイッチを使用して、入居者サポートアームを上昇および下降させてください。これは十分かつ効率的に動作するかテストするために実施します。

緊急停止：

ハンドコントロールを操作して入居者サポートアームを上げ下げし、緊急停止機能をテストします。操作中に緊急停止ボタンを押してください。（図 1 の挿入図を参照）。電動動作がただちに停止する必要があります。

リセットボタンを押して通常の機能にリセットします。

デュアルコントロールスイッチを使用して、このテストを繰り返します。

幅調節可能なシャーシ機能：

シャーシの脚部を開閉して、十分かつ効率的に動作するかチェックします。

機器の全般的状態：

一般的な外観を検査して、適正に作動するか全機能のテストを行い、使用中に有害な破損が発生していないか確認します。



警告： Sara 3000 の適正な機能に疑いがある場合は、本機器の使用を停止し、Arjo サービス部門に連絡をとってください。

環境に関するアドバイス



本製品には電気・電子機器廃棄物に関する欧州指令 2002/96/EC に準拠する電子機器であること示す WEEE 記号（車輪付きゴミ箱に×印が付いたもの）が刻印されています。これは欧州指令ですが、全世界に適用されます。ヨーロッパ諸国では、WEEE 記号は、電気・電子機器、バッテリー及び蓄電池は、動作寿命が終了した際、分別収集しなければならないことを示すものです。本製品を通常の家庭あるいは商業ゴミと一緒に廃棄しないでください。廃棄については、地域の専門家にお問い合わせください。

スリング



警告： スリングは、患者の使用前には必ず点検するようにしてください。また、必要に応じて、スリングの説明に従って洗浄してください。

洗濯に際しては、スリングはリンネルとして取り扱わないようにしてください。

スリングは、製造元の指示に厳密に従って洗浄・消毒してください。

洗浄・乾燥中の機械的圧力（転圧、押圧など）は、スリングの安全性を損ない、快適な操作のために重要な部品を破損する可能性があるため、回避する必要があります。



注意： 通常の洗剤を使用し、アイロンの使用は避けます。スリングのラベルに記載されている説明に従ってください。

メンテナンス計画に従って、使用前には毎回必ず、スリングアタッチメントコード、スリング本体、スリングのストラップと装着クリップが入念に点検することが重要です。

スリング、コードまたはストラップが摩損したり、クリップが破損している場合には、スリングまたはアタッチメントコードの使用を直ちに中止して、交換する必要があります。

点検・保守及びメンテナンス

Sara 3000 は劣化、消耗するものであり、製品をメーカー仕様に維持するようにと明記してある場合、以下の措置を適宜講じる必要があります。

警告

本チェックリストのポイントは、メーカーからの最低限の奨励である。製品の酷使および苛酷な環境に晒している場合などは、さらに頻繁な点検を実施してください。定期点検をしなかったり、不具合を発見した以降も本製品を継続使用すると、ユーザーや入所者の安全を大きく損なう恐れがあります。国内規制および規格は、メーカーのそれよりも優先します。本マニュアルに明記してある予防メンテナンスで、事故を防げます。

注記：

患者が製品を使用中であるときは、製品の保守や修理をすることができません。

メンテナンス計画

処置 / 点検	毎回の 使用前	毎週	12 ヶ月に 1 回
介助者の義務			
必要に応じてスリング、ストラップおよびクリップの破損や摩損を点検してください。スリングの取扱説明書を参照してください。	X		S
露出表面の破損、鋭角な部分がないか目視点検してください。	X	X	
スリングフックを目視にて確認します。破損している場合は使用しないでください。		X	
すべてのラベルが貼付されていることを確認してください。		X	
ハンドグリップがしっかりと固定されていることをチェックしてください。必要に応じて固定し直してください。	X		S
充電装置およびワイヤの完全性および接続を点検します。			S
Sara 3000 を全可動範囲で作動させてください。		X	
ハンドセットおよびケーブルの破損を目で検査確認します。		X	
Sara 3000 の全機能テストを実行してください。		X	S
停止 / リセット用スイッチとシステム下降オーバーライドスイッチの動作をそれぞれ検査確認します。		X	S
バッテリーの漏れおよび（または）劣化を検査確認します。必要に応じて置換します。		X	S
すべての備品、ネジ、ナットが堅固に固定されていることを確認します。		X	S
キャスターホイールが消耗していないかすべて検査確認します。必要に応じて交換します。		X	S
カバーが正しく取り付けられていて、破損していないことを検査確認します。必要に応じて交換します。		X	S
錆の兆候などを確認します。必要に応じて交換します。		X	S

警告

正しい工具の使用と手順の知識を前提に、「S」印が付いている措置を有資格者によって実施してください。これらの要件を満たさないと、ケガをしたり安全性を欠いた製品となる恐れがあります。

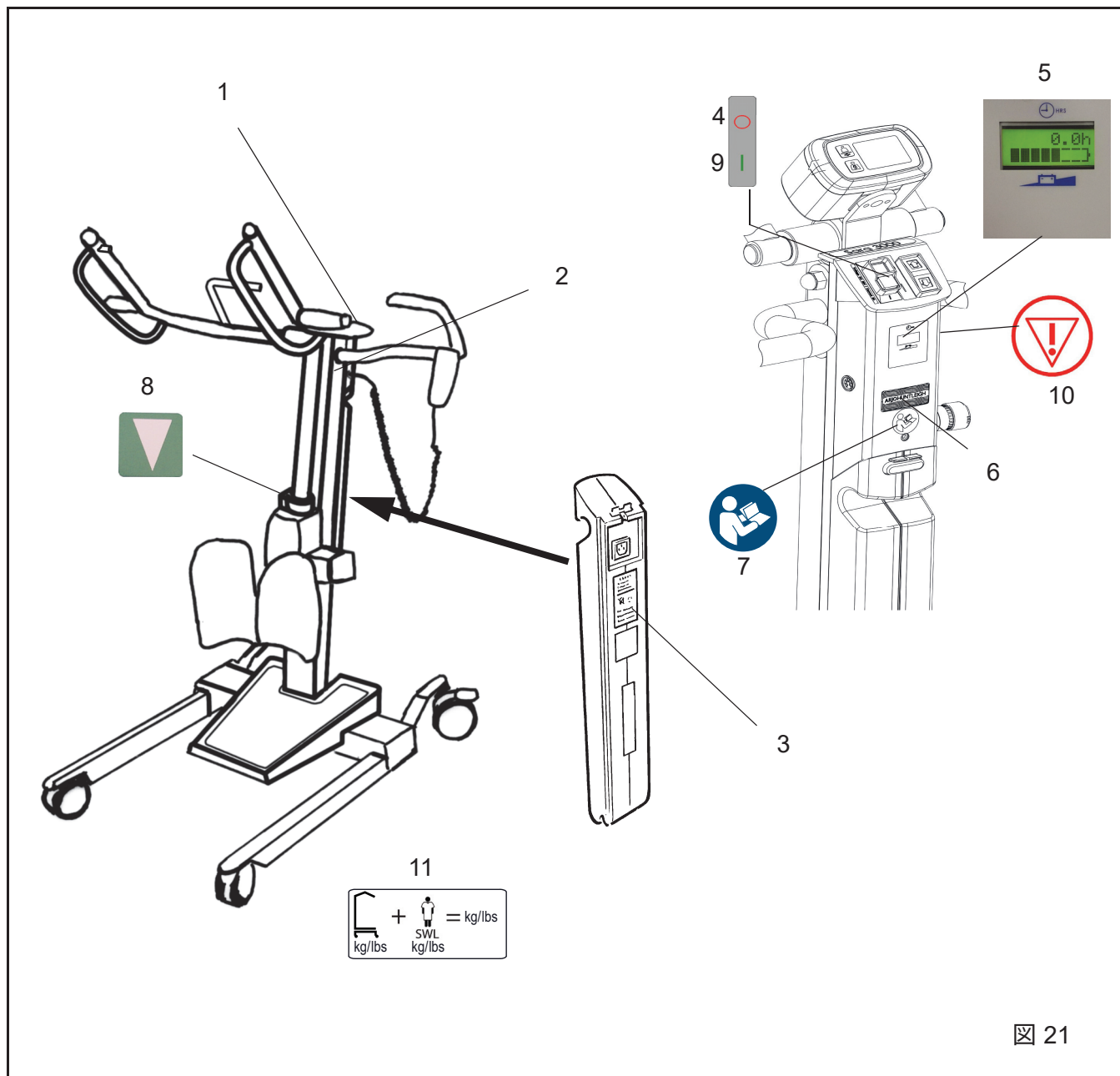












図 21

1. 製品名
2. 安全耐荷重 - 200 kg (440 lbs) およびシリアル番号
3. バッテリー情報
4. 電源オフボタンの識別
5. バッテリー放電インジケータと時間 / サイクルメータ
6. Arjo ロゴ
7. 注意：取扱説明書をお読みください
8. システム故障時の下降オーバーライド識別
9. 電源オン / リセットボタンの識別
10. 緊急停止ボタン
11. リフトの最大合計重量

記号の説明	
	本取扱説明書を必ずお読み下さい
	バッテリーは本製品の主電源です
	欧州指令 2012/19/EC (WEEE) に基づき、電気及び電子部品を分別してリサイクルしてください
	リサイクル可
IP 24	保護等級（具体的には、指の挿入や、水の飛散に対する製品の保護等）
	BF タイプ 適用部品：EN/IEC 60601-1 に基づく感電に対する保護
	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキング 図は、監督認証機関のトレードマークです
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した医療機器であることを示します
	機器の全重量。安全耐荷重を含む
	製造元の名称及び住所
	製造日

技術仕様

コンポーネント重量

	kg	lbs
Sara 3000 完成品	62	137
Sara 3000 はかりおよびバッテリー付き完成品	72	158
リフトの最大合計重量（リフト + 患者）	272	598

通常使用では、Sara 3000 完成品は 2 つの部分に分解できます：

バッテリーパック	3.8	8.4
Sara 3000（バッテリーパックなし）	58.2	128
Sara 3000（はかり付き、バッテリーパックなし）	67.9	150

Sara 3000 はこれらの部品まで分解できます。

安全耐荷重

Sara 3000	200	440
-----------	-----	-----

全スリング - スリングラベル上の安全耐荷重を確認してください。

電気仕様

バッテリータイプ	充電式 - 閉形鉛酸蓄電池
バッテリー部品番号	NDA0100-20
バッテリー容量	24 V 4 Ah
リフト - 保護クラス - 液体の浸入	IP24*
リフト - 保護クラス - 衝撃防止	内部電源機器
リフト公称電圧	24 V
ヒューズ	6 A（熱動過電流遮断器）
ヒューズ - PCBA	20 A
ヒューズ - バッテリー	30 A
バッテリー充電器	NDA8200
コントロールの操作力	< 5 N

医療機器：BF タイプ 

*IP n₁n₂ 記号は、固体微粒子 (n₁) と液体 (n₂) に対する防水防塵保護等級を示します。

2：12.5 mm を超える固体微粒子の侵入に対する保護 - 指または類似の物体。

4：液体の侵入に対する保護 - いかなる方向から筐体に水がかかっても有害な影響を受けません。

技術仕様

IEC 60601-1:2012(ed.3.1)、ANSI/AAMI ES60601-1:2005 / A2:2010、CAN/CSA-C22.2 No. 60601-1:08、ISO 10535:2006、全てに準拠。

	デューティサイクル	/ 最大電圧	/ 最大電流
マストリフトアクチュエータ	10% - (2 分 / 18 分)	/ 24V	/ 10,5A
"V" シャーシアクチュエータ	10% - (2 分 / 18 分)	/ 24V	/ 2,2A
操作モード：断続			

環境

動作、輸送および保管

温度	+10 °C ~ +40 °C (+50 °F ~ +104 °F)、動作時 -20 °C ~ +70 °C (-4 °F to +158 °F)、輸送時 -20 °C ~ +70 °C (-4 °F ~ 158 °F)、保管時
相対湿度の範囲	30% ~ 75%、動作時 10% ~ 80%、結露、輸送および保管を含む
大気圧	800 hPa ~ 1060 hPa、動作時 500 hPa ~ 1100 hPa、輸送時 500 hPa ~ 1100 hPa、保管時

最大音量出力レベル

ISO 3746 に準拠 53 dB (dB 減衰 1pW ± 3 dB)

耐用年数後の廃棄方法

- 製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。
- 補強材、安定材、緩衝材およびその他の繊維またはポリマー、プラスチック材等を含むスリングは、可燃性廃棄物に分類してください。
- 電気および電子部品または電気コードがあるリフト関連製品は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。
- スリングバー、レール、レール保持部材のような主にさまざまな金属で構成される部品（重量で 90% 以上が金属）は、金属としてリサイクルしてください。

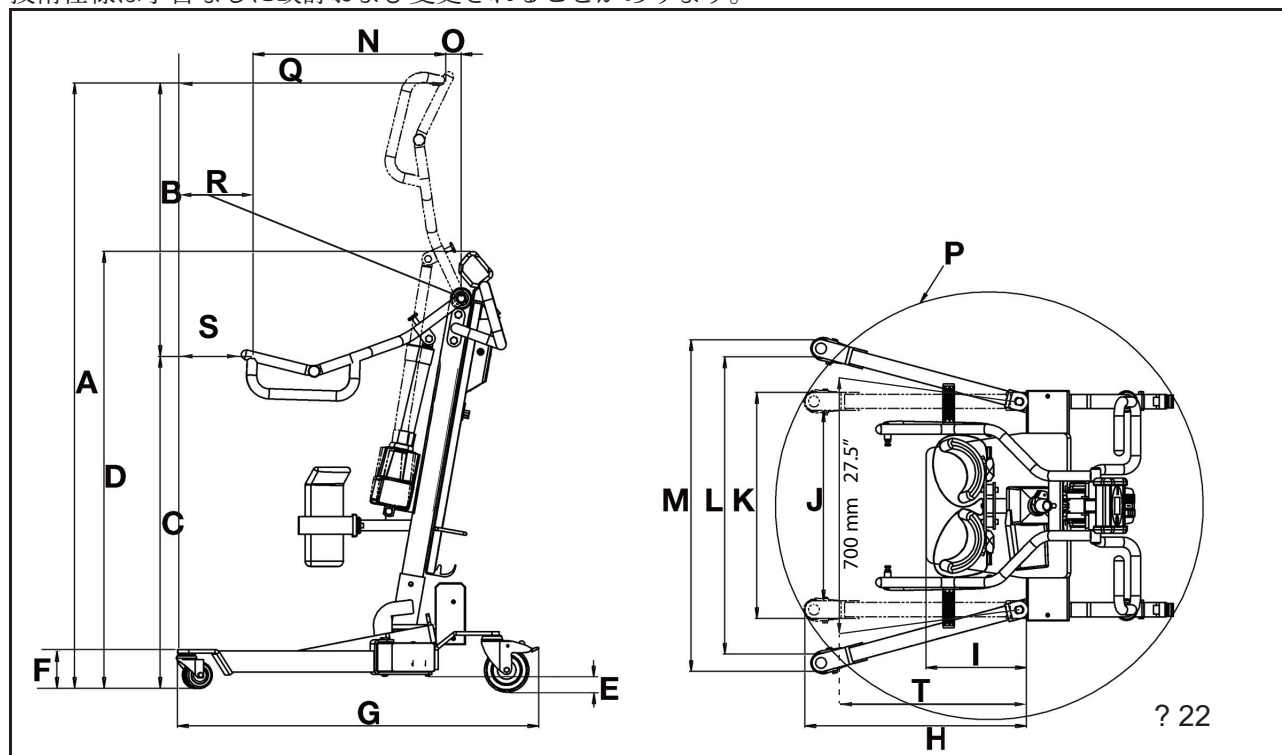
技術仕様

Sara 3000 寸法

A. C.S.P. の最大高さ	: 1715 mm : 67.5"	N. リフティングリーチ最小高 C.S.P. (N も最大リフティングリーチ)	: 590 mm : 19.7"
B. 上昇 / 下降範囲	: 795 mm : 31.3"	O. リフティングリーチ最大高 C.S.P.	: 10 mm : 0.4"
C. C.S.P. の最小高さ	: 920 mm : 36.2"	P. 回転円	: 1035 mm : 40.7"
D. 高さ	: 1140 mm : 44.9"	Q. 壁から CSP までの最小距離 最大の高さ (脚の広がり)	: 810 mm : 31.9"
E. シャーシ最小クリアランス	: 45 mm : 1.8"	R. 壁から CSP までの最小距離 最大範囲 (脚の広がり)	: 200 mm : 7.9"
F. シャーシ最大高さ	: 110 mm : 4.3"	S. 壁から CSP までの最小距離 最低の高さ (脚の広がり)	: 210 mm : 8.3"
G. シャーシ合計外寸法	: 1040 mm : 40.9"	T. 脚付きベースからの距離 広がり	: 700 - 620 mm : 27.6" - 24.4"
H. シャーシ最大内寸法	: 625 mm : 24.6"	U. 最大到達時の内部幅	: 905 mm : 35.6"
I. シャーシフットプレート / サポート長さ	: 270 mm : 10.6"		
J. シャーシ最小内幅	: 540 mm : 21.3"		
K. シャーシ最小外幅	: 645 mm : 25.4"		
L. シャーシ最大内幅	: 805 mm : 44.9"		
M. シャーシ最大外幅	: 1010 mm : 1.8"		

「C.S.P.」は「Central Suspension Point」(中央吊り下げ点)の略: 測定のための Sara 3000 の基準点です。Sara 3000 の CSP として、上昇サイクルの開始時に入居者に最も近いクリップ・アタッチメント点が使用されています。

技術仕様は予告なしに改訂および変更されることがあります。



トラブルシューティング

問題の内容	想定される原因	解像度
Sara 3000 は（購入したばかりだが）動作しない	電源オフボタン（赤）がまだ作動している	緑の電源オン / リセットボタンを押してください。
Sara 3000 は通常よりゆっくりと上昇および下降する	バッテリー電力レベルが低い	バッテリーのすぐ上にある、Sara 3000 マスト上の LCD バッテリーレベルと時間 / サイクルメータをチェックしてください。これはバッテリーの電源レベルを示します。疑わしい場合、Sara 3000 のバッテリーを完全に充電されたものと交換して、パフォーマンスを比較してください。 低バッテリー電力レベルの場合、バッテリーを充電してから、Sara 3000 の使用を継続してください。
Sara 3000 が上昇あるいは下降しない、および / または、シャーシ脚の開閉ができない	ハンドコントロールが破損している	Sara 3000 のマストにあるデュアル上昇 / 下降コントロールで Sara 3000 を動作させてみてください。このコントロールで機器が正常に動作し、ハンドコントロールで動作しない場合、ハンドコントロールを交換してください。
ハンドコントロールまたはデュアル上昇 / 下降スイッチで Sara 3000 が正常に動作しない	電子基板の不具合 入居者サポートアームのアクチュエータまたはシャーシの故障	Arjo 販売代理店あるいは Arjo サービス技術員に連絡してください。
「上昇」ボタンを押している間、Sara 3000 の LCD 上に「過負荷」が示されて、ブザーが鳴り続け、入居者サポートアームは上に動かない	障害物が入居者サポートアームの動きを妨害している	障害物を除去して、上昇サイクルを継続する前にアームに損傷がないか完全にチェックしてください。疑わしい場合、ホイストを除去する前に、システム故障時の下降オーバーライドを使用して入居者を安全な座位姿勢に戻してください。有資格技術者による安全使用のための点検と承認が終了した場合にのみ、Sara 3000 の使用を再開してください。
「シャーシ脚部開」ボタンを押している間、Sara 3000 の LCD 上に「過負荷」が示されて、ブザーが鳴り続け、シャーシ脚が開かない	障害物がシャーシ脚の動きを妨害している	障害物を除去して、上昇サイクルを継続する前にアームに損傷がないか完全にチェックしてください。疑わしい場合、ホイストを除去する前に、システム故障時の下降オーバーライドを使用して入居者を安全な座位姿勢に戻してください。有資格技術者による安全使用のための点検と承認が終了した場合にのみ、Sara 3000 の使用を再開してください。
ホイストが予期しない動きをする	ハンドコントロール、押しボタンあるいは電子部品の故障	ボタンの開放がうまく機能しない場合：緊急停止ボタンを押して、バッテリーをホイストから外してください。ホイストを除去する前に、システム故障時の下降オーバーライドを使用して入居者を安全な座位姿勢に戻してください。有資格技術者による安全使用のための点検と承認が終了した場合にのみ、Sara 3000 の使用を再開してください。
LCD に「OverHeat」（過熱）が表示されて、ブザーが 15 秒ごとに鳴る	アクチュエータデューティサイクルを超えている（2 分）	運転サイクルを終了させて、18 分お待ちください。これによりアクチュエータの破損を防止できます。

電磁環境適合性 (EMC)

本製品は、外部環境から EMI（電磁干渉）を遮断する能力に関して、現行の規制基準への準拠がテストされています。

一部手順は電磁干渉の軽減に役立ちます。

- 機器の正しい機能を損ないかねない、放射の増加あるいは耐性の減少を回避するため、Arjo ケーブルおよび予備部品だけを使用してください。
- 患者様のモニタリングおよび / または生命維持装置などが、電磁エミッション規格に準拠しているか確認してください。

警告

無線コンピュータネットワーク装置、携帯電話、コードレス電話およびそのベースステーション、トランシーバーなどの無線通信機器は、本製品に影響を与えることがあるため、製品から少なくとも 1.5 m の間隔を置いて配置する必要があります。


意図された環境：在宅医療環境および専門医療施設環境

例外：磁気共鳴映像法用 ME システムの高周波手術器具および無線シールドルーム

警告

本製品を他の機器に隣接して、または他の機器と積み重ねて使用すると、誤作動することがあります。このような使用法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、正常に作動しているか、まず確認してください。

ガイダンスとメーカーの宣言 – 電磁界エミッション		
エミッション試験	コンプライアンス	ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	本製品は RF エネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、その RF エミッションは非常に低いため、近隣の電気機器に影響を及ぼしにくくなっています。
RF 放射 CISPR 11	クラス B	本製品は家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。

ガイドランスとメーカー宣言 – 電磁環境耐性			
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 – ガイドランス
静電気放電 (ESD) EN 61000-4-2	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触	床はフローリング、コン クリートあるいはセラ ミックタイルにしてくだ さい。床が合成材に変更 された場合、相対湿度は 最低 30% にしなければ なりません。
無線場により惹起 された電動妨害 EN 61000-4-6	0.15 MHz ～ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ～ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無 線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	0.15 MHz ～ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ～ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無 線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	通信機の出電力定格が 電磁実地調査で判定され る通り、固定 RF 発信機 からで電界強度 1W ^a を超 過する場合、携帯及びモ バイル RF 通信機器は、 ケーブルを含めて本製品 のあらゆる部分から 1.0 メートルより近くで使用 すべきではありません。 固定 RF 送信機からの フィールド強度は、電磁 実地調査によって決定さ れている通り、各周波数 範囲 ^b のコンプライアン スレベルよりも少ない 値にしなければなりま せん。 この記号が記された機器 の近くでは、干渉が生じ る可能性があります。 
放射無線電磁場 EN 61000-4-3	在宅医療環境 10 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	在宅医療環境 10 V/m 80 MHz ～ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	
RF 無線通信機器 の近接フィールド EN 61000-4-3	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	
電氣的ファース ト・トランジェン ト / バースト EN 61000-4-4	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	
電力周波数磁界 EN 61000-4-8	30 A/m 50 Hz または 60 Hz	30 A/m 50 Hz	電力周波数磁場は、一 般商用または病院環境 での典型的な場所での 特性レベルである必要 があります。
^a 無線（携帯 / コードレス）電話と陸上移動無線のベースステーション、アマチュア無線、AM/FM ラジオ放送局及び TV 放送局のような固定送信機による電界強度は、理論上、正確に予測することは不可能です。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁実地調査を検討するようにしてください。本製品が使用される場所における測定電界強度が適用される RF 適合性レベルを超える場合は、本製品を観察し、正常な操作を確認する必要があります。異常な性能が認められた場合、追加測定が必要になることがあります。			
^b 150 kHz ～ 80 MHz の周波数範囲外にある場合、電界強度は 1 V/m 未満でなければなりません。			

意図的に空白

意図的に空白

意図的に空白

AUSTRALIA

Arjo Australia Pty Ltd
78, Forsyth Street
O'Connor
AU-6163 Western Australia
Tel: +61 89337 4111
Free: +1 800 072 040
Fax: + 61 89337 9077

BELGIQUE / BELGIË

Arjo NV/SA
Evenbroekveld 16
BE-9420 ERPE-MERE
Tél/Tel: +32 (0) 53 60 73 80
Fax: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.be

BRASIL

Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufuli Zanfelize, 329 PB02 Galpão
- Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA

Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 300
CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 905 238 7880
Free: +1 800 665 4831 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 905 238 7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA

Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strži 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
e-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK

Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail:
dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND

Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-55252 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA

Arjo Ibérica S.L.
Parque Empresarial Rivas Futura, C/Marie
Curie 5
Edificio Alfa Planta 6 oficina 6.1-.62
ES-28521 Rivas Vacia, MADRID
Tel: +34 93 583 11 20
Fax: +34 93 583 11 22
E-mail: info.es@arjo.com

FRANCE

Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG

Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA

Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST

Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building, North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND

Arjo BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND

Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE

Arjo Norway AS
Olaf Helsets vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH

Arjo GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA

Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
Tel: +48 61 662 15 50
Fax: +48 61 662 15 90
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL

Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribuidor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ

Arjo AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI

Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE

Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 MALMÖ
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM

Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA

Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 630 307 2756
Free: +1 800 323 1245 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 630 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN

Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7番8号 ランディッ
ク第2虎ノ門ビル9階
電話 : +81 (0)3-6435-6401

Address page - REV 24: 04/2019

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.



ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

arjo

CE
2797